

2018年度第2回経和会議事概要

2019年2月23日

於: operetta(オペレッタ) 丸の内トラストタワー店

1. 経和会2019年度事業計画(案)について

2019年度事業計画見直しについて、館会長から概要の説明及び中壘企画委員長から詳細の説明があり、次のとおり了承された。

- (1) 事務局委託について、2019年度から学術事業会への委託を行わない。
- (2) ホームページのプロバイダ契約を解約し、大学内のサーバーに移転する。またホームページの内容(構成)を大幅に刷新する。
- (3) 寄付講座への支援を引き続き行う。
- (4) 経和会サロンを今後とも行っていく。
- (5) 学年同窓会の開催など同窓会活動を行った学年理事にインセンティブを与えるなど同窓会の活性化を推進する。
- (6) 職場同窓会活動の活性化を推進する。
- (7) 学年理事に名簿を提供するなどを同窓会活動活性化のため名簿を活用する。
- (8) 就職支援活動を引き続き行っていく。
- (9) 会報は、紙媒体での郵送は2019年度限りとし、2020年度以降は電子媒体でHPにUpするなど電子化を検討する。HPで閲覧できない同窓生には紙媒体で提供することを検討する。
- (10) 総会・理事会の運営を工夫し、活性化に努める。
- (11) その他支援等として、経済学部及び大学同窓会などからの各種支援要請については、内容を吟味の上できる限り支援する。また、経和会のブランド価値向上、引いては埼玉大学経済学部の卒業生のブランド価値向上のための地域交流活動を積極的に行う。

2. 館会長から、ホームカミングデー(10月26日(土))を今年も行い、須藤理事を実行委員に指名したとの報告があり、須藤理事から挨拶があった。

3. 各委員長から、これまでの活動状況等について報告があった。

4. 千葉総務委員長から、次回理事会は未定であり、総会は7月6日(土)又は7月13日(土)を予定しているが、詳細が決まったら周知することの報告があった。

5. 新理事として相川春雄氏(S55 卒)及び董路氏(H10 卒)が承認された。

(参考) 理事会及び懇親会において、以下のとおり意見交換があった。

ホームページのリニューアルに関して、千葉委員長、富田広報委員に加え有識者として権田理事、松崎理事、須藤理事、大橋理事に館が紙媒体の会報送付を来年度限りにするのに合わせてホームページのリニューアルに関して相談したところ概要以下の通り。

- ・ 現行のホームページについては、埼玉大学同窓会後藤事務局長のボランティアによって大学サーバー内の埼玉大学同窓会ホームページにリンクした形式で保存していただく。
- ・ 今後のリニューアルについては、千葉総務委員長、富田広報委員中心に埼玉大学同窓会後藤先生と相談して、新たな抜本改善、更新方法について検討していただくが、原則は、同窓関係で割安に運営頂ける IT 企業に発注する。(池田先輩のアイネットと相談)
- ・ リニューアルの基本設計としては、例えば日タイビジネスフォーラム或いは地域活性学会のようなイメージの内容で作成を検討。既存の表紙、ニュースに左欄に MENU があり、基本的に既存の会長挨拶、組織・役員、規約(個人情報保護を含む)、総会・理事会、経和会報、広場(投稿情報を広報委員がスクリーニングして掲載)、就職支援、寄附講座、リンクサイト、会員ログイン(会員コミュニケーションサイトとし、理事会、委員会、一般)のような標準的な設計

意見としては、

- ・ 紙媒体をホームページに移行すると対象者の範囲が相当狭まるので良く検討が必要
→これまで長らく熟慮検討してきており、来年の最終通告と救済措置(有償会員で有料の紙媒体郵送を希望する者には別途対応など)で実行に移す段階。現在の新入生終身会費で多くの会費未納・住所不明会員に多額の負担(全予算の 3 分の 1 程度)をして資源・環境・労力の無駄を継続する余裕はない。
- ・ ホームページの発注には、執行部が詳細な企画案を示して有識者 OB の意見を聴くなどしてはどうか。
→これまで執行部で多忙な埼玉大学同窓会後藤先生なども巻き込み改善策を検討してきており、3 月には事業会との契約を終了することから急ぎ検討が必要。まずは、プロの IT 事業者の提案を基に上記のリニューアル方針でスタートし、走りながら考えて行くこととしたい。
- ・ ホームページは、執行部も多忙、素人であろうからプロに任せてまずは委託して、実行状況に応じて検討すべき。
→そのようにしたい。
- ・ ホームページ管理については、学生アルバイトなどを上手く使ってはどうか。
→大学当局、埼玉大学同窓会(工学部)など各方面に当たったが、学生アルバイトは依頼困難、将来的に大学職員の再任用職員で手伝ってくれる方などに副職として依頼するなどが精々の可能性。
- ・ 時間もないので余り多くの意見を聞いて右往左往するよりも実際に作業を手伝ってくれる若手 OB 中心に進めるべき
→そのようにしたい。

以上